

令和 5 年度
学校関係者評価報告書

令和 6 年 6 月
獨協医科大学附属看護専門学校

I. 領域別評価

1. 教育理念・目的・期待する卒業生像	・教育理念・目的・期待する卒業生像が明確にわかりやすく設定されている。 ・豊かな人間性を備え、知識、技術を兼ね備えた看護師を育成するためには何が必要かを理念、目的の中から伺える。 ・国際的視野を持ちつつも地域の人々に手を差し伸べ共に笑いあえる看護師育成に期待する。
2. 学校運営	・様々な組織に分担して効率良く運営されている。運営方針や組織運営等が規程に基づき適切である。 ・人事評価が教員のモチベーションアップに繋がるシステムになることを期待する。 ・既存のシステムに満足することなく、新たなシステムを導入する姿勢を含め、今後の活躍に期待したい。
3. 教育活動	・新カリキュラムでは、教育理念を基に教育目標を設定し、教職員に周知され、教員の質の向上に向け、教職員全員が努力している。 ・令和4年度から、授業改革（反転授業、アクティブラーニング）により、中途退学者の低減が図られている。 ・専任教員の教授力の向上等、質の向上のため、人材育成が可視化できる教員ラダー等評価指標を活用するとよい。 ・看護は、ケーススタディに基づいた実地訓練の機会を多く持つとよい。
4. 学修成果	・看護師国家試験合格率100%の目標に向け、さらなる改善策を図り個別指導に力を入れ、令和6年度は合格率がアップすることを期待する。 ・何を学び何ができるようになったのかを学生自身が認識し、自分の得意分野をもてるような学びができることを期待する。
5. 学生支援	・保護者との連携をより密にし、学生自身が主体的に学べ安心して学生生活が送れる環境設備をさらに整えてもらいたい。 ・高い就職率であり、就職後の離職率等が把握できると卒業後のキャリア継続が見えるのではないかな。 ・学生生活委員会の役割や位置づけが明確で学生生活支援に大いに貢献している。
6. 教育環境	・校舎の老朽化や教室、会議室、実習室等不足している現状のなか、最善の努力をしている。学習効果を高めるため、今後も計画的に学習環境を整備してもらいたい。 ・今後もIT教育を推進してほしい。 ・災害時の備蓄や防犯対策等が整備され、適切に防災・安全管理ができています。 ・学生は在学中に実施された防災訓練を就職後の訓練にも役立ててほしい。

7. 学生の募集と受入れ	・コロナ感染状況を踏まえ、人数制限でのオープンキャンパスの開催や情報サイトの活用、ホームページの充実等募集活動の努力は適切と評価できる。今後も医療現場に相応しい優秀な人材獲得に努めてもらいたい。
8. 財務	・業務全般にわたり経費削減の意識改革が定着している。学習環境にプラスになるよう今後も全教職員で遂行してもらいたい。
9. 法令等の遵守	・関係法令に基づき学校運営がなされている。自己点検・評価を実施し公表しているため、今後も継続して取り組んでほしい。
10. 社会貢献・地域貢献	・社会貢献・地域貢献で得る体験・経験は、社会性を育む機会に大切な場であると思われ、新型コロナウイルス感染症も5類に移行したことから、積極的なボランティア活動に期待する。

Ⅱ. 総括

適切に学校運営がなされており、教育理念・教育目標に基づいた看護師を育成するため、教育活動や学生支援に取り組んでいる。高い看護師国家試験合格率を維持していることから、学校が一丸となって鋭意努力をしていることが伺える。多職種と連携して適切な保健・医療・福祉を提供することが看護職者に期待されており、社会のニーズや医療を取り巻く状況が厳しい中、専門職として広く社会や地域に貢献できる看護師の育成を期待する。